



駿河台大学 同窓会

SURUGADAI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

駿河台大学同窓会報

2020.4.1 VOL. 38

発行：駿河台大学同窓会事務局
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
☎042-972-1101
dousou@surugadai.ac.jp

駿河台大学同窓会ホームページ <https://www.surugadai.ac.jp/dousou/index.html>

2020年度同窓会総会・懇親会のご案内

飯能キャンパスにて開催

2020年度同窓会総会・懇親会は、飯能を会場にして開催します。総会では、昨年度の同窓会事業内容及び決算を報告し、今年度の事業計画及び予算案等を審議します。

また、当日は、オープンキャンパスで活躍中の学生スタッフによる「キャンパスツアー」も予定しています。

総会終了後は、会場を飯能駅ビルにある「ホテル・ヘリテイジ飯能sta.」に移し懇親会を開催します。懐かしい同窓の仲間や先生との再会を楽しんでいただく立食パーティーです。また、小さなお子様向けにキッズスペースもご用意しますので、是非お気軽にご参加ください。

同窓会総会・懇親会

日時：2020年5月16日(土)

<総会>14:00～ <懇親会>17:00～
13:00よりキャンパスツアーを実施いたします。参加ご希望の方は第二講義棟1階エントランスにお集まりください。

場所：<総会>駿河台大学
第二講義棟14階会議室
<懇親会>ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

会費：無料

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、今後、同窓会総会・懇親会の日程変更や規模の縮小、中止等の判断を行う可能性があります。日程変更が生じた場合には、同窓会ホームページにて改めてご案内いたします。

～遠方からお越しになる方へ～

宿泊をご希望の方には、懇親会場のホテル・ヘリテイジ飯能sta.をご案内しております。宿泊の際は、宿泊費の一部を同窓会にて負担いたします。詳細は、別紙「同窓会総会・懇親会開催のご案内」をご参照ください。



2019年度同窓会総会・懇親会の様子

2019年度 駿輝祭・ホームカミングデー開催報告

講演会

駿輝祭初日の10月26日(土)に、同窓会・父母会共催の講演会が実施されました。講演会には、秋草学園短期大学学長で工学博士、そしてタレントのビートたけしさんの実兄である北野大氏をお招きして「北野家の訓(おしえ)」をテーマにご講話いただきました。北野家の父母の訓えから強く生きるための知恵、環境問題の専門家としてのご自身のお考え等、貴重なお話ばかりでした。北野氏は、講話の後の質問コーナーにも熱心にお答えくださり、温かいお人柄に、会場



が終始和んだ雰囲気にもまれていました。

前日の雨も上がり、当日は晴天の中、本学学生やご父母の皆様、卒業生、地域の皆様、教職員等521名の方々にお越しいただき、盛況に終えることができました。



北野大氏講演会の様子

懇親会

講演会終了後、第二講義棟15階スカイラウンジにて、同窓会主催の懇親会が開催されました。今回で19回目となるホームカミングデーですが、卒業生同志で誘い合ったり、ご夫婦やご家族・お子様連れで参加される方も多くなり、賑やかな雰囲気の中で、楽しいひと時を過ごしていただきました。

懇親会の冒頭では、恒例となった同窓会から駿輝祭実行委員会へ協賛金が贈呈され、駿輝祭実行委員会の田中慶吾委員長(メディア情報学部4年)からお礼の言葉が述べられました。

また、駿輝祭当日は、各方面から引っ張りだこで大忙しのマスコットキャラクター「しゅんた」(写真の右端)も懇親会に姿を見せ、子供たちとの記念撮影にも応じてくれました。

次回も、駿輝祭及びホームカミングデーに多くの卒業生の皆様にお越しいただけると幸いです。お友達やご家族をお誘い合わせの上、是非母校に遊びにいらしてください！



駿輝祭表彰 同窓会長賞

10月26日(土)・27日(日)に開催された駿輝祭において、展示・発表を促進していくことを目的に、優れた展示や発表を行った団体に対し「理事長賞」「学長賞」「奨励賞」「同窓会長」の表彰が行われました。

展示内容や来場者への対応及び説明等について評価を行い、各賞の受賞団体を決定し、賞状と表彰金が授与されました。

「同窓会長賞」は、ホームカミングデーに来場した同窓会会員の皆様にアンケートによる投票をしていただき、その結果により決定いたしました。受賞団体は次のとおりです。

受賞名	受賞団体	展示内容(テーマ)
理事長賞	平井純子ゼミ(現代文化学部)	HANNO HAPPY WOODY PROJECT
学長賞	城井光広ゼミ(メディア情報学部)	作品展示
奨励賞	井上智史ゼミ(メディア情報学部)	映画のグラフィックデザイン展
	野村正弘ゼミ(メディア情報学部)	和文化再発見 着物・きもの・kimono 駿輝祭特別展示
同窓会長賞	大澤傑ゼミ(法学部)	理想の国に移住しよう!

<大澤傑ゼミの学生のコメント>

ゼミ生全員で丸となって駿輝祭に向けて準備してきたので、とても嬉しいです!

賞を取れたことは、我々ゼミ生にとって自信につながり、これからの学習の大きな励みとなりました! 興味を持って来てくださった方々、政策についてご教授してくださった方々、ありがとうございました。



大澤ゼミの学生と大澤助教(右端)



展示の様子

栃木支部会開催報告

2019年9月7日(土)に、栃木県宇都宮市の「ホテルマイステイズ宇都宮」にて、同窓会栃木支部会を開催しました。今回も駿河台大学父母会栃木支部会との同時開催となりました。

当日は、地元の同窓会員の皆様にお集まりいただき、14時から支部会、15時から懇親パーティーが行われました。

支部会では、同窓会役員紹介、岡部副会長からの挨拶、廣瀬副会長からの大学の近況報告、富岡副会長からの同窓会活動報告と続き、最後に出席して下さった地元の同窓会員の皆様から自己紹介をしていただきました。

支部会終了後の懇親パーティーは、同じ会場内で開催されておりました駿河台大学父母会栃木支部会との合同開催となり、学生の保護者の皆様、卒業生、大学関係者が一堂に会し、世代を超えた交流を図ることができ、賑やかな懇親会となりました。



支部会の様子



懇親会の様子

活躍する準会員(在学生)への支援について

同窓会では、課外活動において顕著な活躍をしている準会員(在学生)に対して支援を行っております。昨年度の同窓会から準会員への支援につきまして、主な活動をご報告いたします。

日本代表選手としてアジア選手権・世界リレー・世界陸上に出場

私は、2019年シーズンに日本代表として3つの国際大会に参加しました。アジア選手権では、男女混合4×400mRにおいて3位、男子4×400mRにおいて優勝を果たしました。世界リレーでは、男子4×400mRにおいて4位入賞を果たしました。ドーハ世界陸上では、男女混合4×400mRと男子4×400mRに出場し、惜しくも予選敗退となりましたが、男女混合4×400mRにおいて日本新記録を樹立しました。

大学入学当時、このような結果は、全く想像していなかったことでした。大学では、もっと強くなりたいという一心で陸上競技に取り組んできました。入学当時の400mの自己ベストは、48秒51でしたので、1年次は47秒台を目標に、基礎的な身体作りに取り組みました。さらに、2年次は、46秒台を目標に、フォームを根本から改善しました。そして、3年次は、45秒台を目標に、レースパターンの高度化に取り組みました。

こうして、自己ベストを着々と更新しながら、現在に至りますが、うまくいかずに辛い時期を過ごしたこともありました。それは、3年次の春先に自己ベスト(45秒81)を出して以降のことです。45秒台を出したことで日本代表を狙えるレベルとなり、周囲の期待も大きく高まりました。これにより、期待に応えたいという気持ちから結果ばかりを意識するようになり、思うようなレースが出来なくなってしまいました。

これを克服するきっかけは、その年の秋に行われた国体でのことです。私は、うまく走れないレースが続き、すっかり勝利意欲を失っていました。そこで、結果ではなく自身の課題のみに焦点をおいてレースに挑みました。すると、本来の強みを発揮し、5位に入賞することが出来ました。このことをきっかけに、結果を求めるのではなく、いいパフォーマンスを発揮することに集中することで、結果がついてくるのだと考えるようになり、辛い期間を脱しました。

これらの経験を通じて、着実にステップアップをしてきました。今後もさらなる飛躍を目指し、競技に取り組んでまいります。



2020年現代文化学部卒 若林 康太

2019年度の活動報告と今年の展望



まず駿河台大学同窓会様にはパンツスポンサーとしてサポートしていただき、ありがとうございました。お陰様でより競技に集中して取り組むことができました。

2019年は自分の格闘技人生にとって大きな転機となる一年となりました。まず6歳から初めた極真空手からキックボクシングに転向することを決め、沢山の方々の協力もあり、現在所属している橋本道場でプロキックボクサーとしてのキャリアをスタートすることができました。

そして2019年3月にプロデビューし、戦績は7戦7勝という結果を残すことができました。結果だけを見ると無敗で順風満帆のように思えますが、初めての減量や、怪我等、苦勞も多かったです。特に減量最後の水抜き中(水分摂取をせず汗を出し体重を落とすこと)の学校生活はとて大変でした。そして勝ちだすと環境も少しずつ変わっていき、テレビの撮影や映画出演等が増えていき、練習や学校と並行しての撮影など、初めてのことが多かったのが大変でした。

今年は2月11日が最初の試合になります。この試合は1日3試合のワンデイトーナメントで、優勝すれば目標にしていたチャンピオンベルトを巻くことができます。自分以外の参加選手は各団体のチャンピオンですが、自分を信じて必ず優勝します。

チャンピオンになった後の今年のもう一つの目標は大晦日に試合をすることです。自分ならどの目標も達成できると思います。

ですが、こうして活動できているのは沢山の方々の支えがあるからです。そのことを忘れずに日々精進していきたいと思っています。(2020年1月末時点の内容です。)

法学部4年 与座 優貴

皆様の応援を力に

プロ戦績は18戦15勝(6ko)1敗2分です。

6戦目で初タイトルのREBELS-MUAYTHAI スーパーフライ級王者になることができました。他にもREBELS-MUAYTHAI フェザー級王者、INNOVATIONスーパーバンタム級王者、WPMF世界フェザー級暫定王者になれました。日々辛い練習をし、キックボクシングに掛けてきたからこそここまで来れたと思っています。今後はもっと強い選手になり、駿河台大学を有名にするほどになりたいと思っています。駿河台大学の同窓会の皆様に応援していただけて本当に力になっております。これからも頑張っていきますので何卒よろしくお願致します。



現代文化学部2年 安本 晴翔

同窓会後援 「卒業生との交流会2019」～社会で活躍する駿大OB・OGとの座談会～

キャリアセンター

2019年度も「卒業生との交流会」を春・秋両学期で開催いたしました。本イベントは複数の卒業生を大学にお招きし、在学生と交流を深める企画です。同じ大学の先輩が社会でどのような仕事をし、活躍しているのかを知り、学生生活をいかに有意義なものにしていくかを考える機会として評判のイベントで、今回で5年目を迎えました。

春学期は7月11日(木)に開催し、卒業後1～10年程度の卒業生10名にお集まりいただきました。警察官、市役所職員といった公務員の方々から信用金庫などの営業マン、自動車販売の事務員、児童指導員、そして映像の編集マンまで幅広い分野から個性豊かな卒業生にご参加いただきました。当日参加した在学生は、卒業生から話を聞くことで働くことのイメージが変わったり、モチベーションアップに繋がったりしたようです。現在の大学3年次生は、6月頃から始まるインターンシップで、社会人と接点を持つことが当たり前ようになってきました。そういったインターンシップで出会う人事の方は違った視点でお話いただけたことが、在学生にとって良い刺激となりました。

秋学期は11月7日(木)に「卒業生は社会に出てどのように活躍しているのか」をテーマにしたパネルディスカッションを開催しました。'12年に法学部を卒業されたコンタクトレンズ業界大手の女性営業マン、'14年に現代文化学部を卒業された市役所職員、そして'16年に経済学部を卒業された外国家具の管理業務担当者をパネリストとしてお招きし、入社から現在に至るまでのことやその中で活かすことができた学生時代の経験や強みを中心に話をお伺いしました。卒業生それぞれが業務の中で悩み、考え抜いてきたからこそ出てきた言葉に「勇気づけられた」「これから活かせる話が聞けて良かった」などの感想が在学生からありました。またパネルディスカッション形式については、話を掘り下げることで細かい情報も聞くことができたことと好評で、各業界で求められる力や活躍する人材について知る機会となりました。

イベントにご参加いただいた卒業生の皆様をはじめ、ご後援いただいた本学同窓会に深く御礼申し上げます。今後も学生の進路選択に役立つイベントを企画・運営していきたいと存じますので、引き続きご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。



法学部

法学部では、11月28日(木)に、第二講義棟15階ラウンジにて、「全学部全学年女子学生対象 法学部女子会プレゼンツ 卒業生就職報告会」を開催しました。当日は、神田のぞみさん、佐野有紀さん、永見桃さん、良知なつ美さんの4名の卒業生をお招きし、法学部やメディア情報学部などから15名の女子学生が参加しました。本年度も同窓会のご後援により卒業生就職報告会を開催できましたことに心より御礼申し上げます。

報告会では、3つのグループにわかれ、お菓子や飲み物などの軽食を交えながら卒業生と在学生が座談会形式で互いに交流を深めました。卒業生のあたたかい雰囲気、在学生には緊張した様子もほとんどみられず、積極的に会話や質問をすることができていました。

卒業生は、就職活動のことだけでなく、就職後の仕事内容や福利厚生のほか、転職のこと、結婚や出産のことなどさまざまな話をしてくれました。在学生が抱える不安や疑問に対しても、ひとつひとつ丁寧にアドバイスをしていただきました。

今回の報告会に参加し、現在女子会で中心的役割を担ってくれている田中理沙さんは、「現在就職活動が始まったばかりの3年生だけではなく、まだ就職活動が始まっていないけれども漠然とした不安や疑問を持っている1年生、2年生にとっても大変有意義な時間になったのではないかと話していました。とりわけ現在人事課にお勤めの先輩から伺った、人事の方が学生のどこに注目しているかなどの就職活動における実践的なアドバイスが印象的だったとのことでした。

在学生にとって先輩方の実体験に基づくお話は、これからの学生生活を送る上でも、将来設計を描く上でも、非常に価値のあるものだったと思います。今回の卒業生就職報告会を経て、在学生には将来に向けて前向きな一歩を踏み出してもらいたいと思います。



(法学部 准教授 石田 若菜)

現代文化学部

現代文化学部の学部DAYは必修科目と同様に重要な行事として位置づけています。

11月27日(水)に行われた3年次生対象のプロگرامは、就職活動準備の一環として、ますます多様化する日本社会で生活・仕事をするために必要なスキルについて実践的に考えるワークショップでした。

ワークショップの前半は、ゼミごとに3つのクラスに分け、国籍・性別(LGBTを含む)・ライフスタイルに見られるダイバーシティ(多様性)に加え、人間それぞれのモノの見方や解釈、個性、異なることに価値を見出す、など経営戦略として企業に求められるあらゆるスキルについて学びました。そして、そういった能力を実践的に深めるため、さらにランダムに決まったグループに分け、動物メガネのプレゼン制作アクティビティに入りました。学生はグループで選んだ動物をテーマにし、動物メガネのチラシとCMについて力を合わせて考えなければなりません。グループワークでは動物の特性を活かせるメガネの販売促進を考察、さらに各リーダーシップやタイムマネジメント、積極性・想像力・創造力を発揮した商品のチラシやCMを制作しました。与えられた20分間で、個性的な動物メガネに関するチラシを作り上げ、そのCMを30秒でプレゼンテーションしました。ここで学んだことは、それぞれ得意な能力・スキルが違い、それぞれがその特性をうまく生かせるチームは素晴らしい作品を想像できたことでした。

後半は、全クラスが一緒になり、各クラスから選ばれた代表チームが最後のアピールを行い、「ワンダフルメガネ」がベスト・チームとして選ばれました。

最後に、卒業生である小野寺志宏さんと、結婚されたばかりの櫻木健人さんをお迎えし、社会人として仕事をおこなう中で、どのような方と出会っているのか、お話を伺いました。外国にルーツを持っている人をはじめ、学生、高齢者、知的障がい者など、同僚やお客さんとして文字通り多様な方と職場で関わってこられたそうです。高齢化・少子化という社会問題を抱えている近年の日本において、従来の雇用傾向と異なり、様々な人が雇用される環境となってきたそうです。そういった社会、会社、環境の中で勝ち抜くために、自分なりの個性さ、ユニークさ、積極性などをアピールしなければならぬことがよく伝わってきました。櫻木さんの言葉を借りますが、最後に「社会人は常に逆走のエスカレーターと同じ、歩いてても現状は変わらないまま」というフレーズで、社会人として積極的に行動する(ここでいえば前進する)必要があることを強調してくれました。

(現代文化学部 講師 マッシュズ・ジョエル)



心理学部

11月27日(水)の学部Dayにおいて、心理学部は、5回目の「学部DAY 心理学部2・3年次生対象企画 先輩・社会人交流会」を開催しました。心理学部では、就職ということに実感を持っていない学生、就活や将来の社会人生活に不安を抱く学生も少なくありません。この企画は、そんな学生に、社会で活躍されている卒業生や内定を得た4年次生との交流を通じて、就活並びに社会人生活への「心の準備」を整えてもらおうとするものです。参加者は、昨年の63人からさらに増え、本年度は、78人(2年次生31人)となりました。

交流の相手として、法学部卒の成沢威満男様、経済学部卒の高倉元明様、皆川彩様、現代文化学部卒の高木清美様、心理学部卒の椿若菜様、速水一優様、市村美里様、阿部幸太様、小林風花様の9人の卒業生と、7人の4年次生、2人の大学院生に協力いただきました。今回も、同窓会の支援により、卒業生、大学院生の皆さんに謝礼をお出しすることができました。ご支援に心より感謝申し上げます。

交流会は、大会館3階において、13時30分から始まりました。就活・就業に関する総括的な話、先輩方の紹介の後、2・3年次生には12グループに分かれ、指定した卒業生2回、4年生1回(各20分)と交流してもらい、最後30分のフリーセッションでは自由に相手を選んでもらいました。

最初の緊張感も、卒業生からは、働くとはどういうことか、働く心構えといった話に加えて、どんな学生を採用するか、どんな社員が評価されるかなど、4年次生からは、就活のテクニックや実際の面接内容など、体験に基づいた具体的なお話をいただくことにより、すぐに熱を帯びたものとなりました。2・3年次生は、先輩たちの話を耳を傾け、少しでも何かを得ようと頑張っていました。先輩・後輩の温かい交流は、本当にいいものです。

参加した2・3年次生には交流内容を用紙に記入してもらい、交流会後に回収しましたが、それは交流が本当に充実していたことがうかがえるものでした。この用紙は、ゼミの担当教員に内容を確認いただき、本人に返却し、交流会の振り返り、ゼミでの就活指導に活用してもらっています。



(心理学部 教授 佐古 年穂)

同窓会事務局より

【重要】同窓会では、卒業生の「人材バンク」機能を構築していくことに取り組んでいます。現役学生に対する講座の講師役や就職座談会などへの支援をお願いする際に活用していきたいと考えています。後日、同窓会や大学関係者より事前に「人材バンク」への登録可否を伺う連絡が入る場合がございますので、予め承知いただくとともに登録にご理解ご協力のほどお願いいたします。

卒業生子女への学費支援

同窓会では、本学卒業生への還元の一環として、卒業生の子女が母校(駿河台大学)へ入学する場合に、入学金免除制度(大学制度)に加え、同窓会から「初年度授業料の半額」を給付しています。給付型奨学金でするので、返還の義務はありません。

制度の概要は以下のとおりです。

(1)支給要件：以下全ての要件を満たす場合に支給対象とします。

- ① 本学同窓会員の子女であること。
- ② 駿河台大学が設置する学部新たに入学する子女であること。ただし、編入学及び再入学の場合は当制度の対象としない。
- ③ 本学同窓会員が保証人であり、同窓会員又はその配偶者が当該子女を扶養していること。

(2)給付額：367,500円(入学時初年度授業料の半額)

※入学した初年度に限り給付するもので、継続はありません。
※特別奨学生制度などにより初年度授業料が免除されている場合は対象となりません。

(3)手続方法：保証人である同窓会員が申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添えて同窓会事務局(学生支援課内)に郵送してください。

(4)提出期間・振込予定日：

提出期間：2020年4月1日(水)～4月24日(金)

振込予定日：6月末日

※ただし、学費等月額納付制度を利用される場合は、振込予定日が別途対応になります。

申請書類等、詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

退職教員のお知らせ

このたび、2020年3月末日をもって退職された先生方をお知らせします。長い間、大変お世話になりました。

- メディア情報学部 水沼 友宏助教 ●心理学部 五味 久美子教授
- 心理学部 信岡 奈生教授

訃報

●竹下守夫元総長におかれましては、2019年10月2日(水)にご逝去されました。

●本学名誉教授 Roger Finch先生におかれましては、2019年10月4日(金)にご逝去されました。

同窓会事務局からのお知らせ

会員の皆様は年に2回(4月・10月)に「同窓会報」をお送りしておりますが、卒業後にご住所等が変更になった方は変更の手続きをお願いいたします。

なお、会員の皆様の個人情報、厳正に管理し、本学同窓会業務及び本学からの連絡等に利用させていただいております。また、「同窓会報」などの送付の際、利用目的の適正な範囲内において、必要に応じて外部業者に発送を委託し、情報を提供する場合がございますが、その他の目的には利用いたしません。

駿河台大学同窓会事務局(学生支援課内)

TEL 042-972-1101 FAX 042-972-1149

URL <https://www.surugadai.ac.jp/dousou/contact.php>

(住所等更新変更送信フォーム)

2019年度 答辞・総代・各賞受賞者

答辞

心理学部心理学科

倉本 大希 筑波大学附属坂戸高校出身

総代

法学部法律学科

猿井 智裕 埼玉県立所沢西高校出身

経済経営学部経済経営学科

本間 滉平 翔洋学園高校出身

メディア情報学部メディア情報学科

西川 彩香 新潟県立長岡商業高校出身

現代文化学部現代文化学科

山戸 明日香 東京都立東村山西高校出身

心理学部心理学科

市原 香葉 埼玉県立所沢高校出身

優秀賞

法学部法律学科

土屋 梨紗 東京都立大島高校出身

経済経営学部経済経営学科

秋田谷 竹智 埼玉県立鶴ヶ島清風高校出身

メディア情報学部メディア情報学科

大黒 圭祐 新潟県立新潟南高校出身

現代文化学部現代文化学科

小林 茜 群馬県立沼田女子高校出身

心理学部心理学科

金子 貴勇 群馬県立尾瀬高校出身

菩提樹賞

法学部法律学科

小原 勇志 高校卒業程度認定試験

貝瀬 綾伽 八王子学園八王子高校出身

栗原 あずみ 埼玉県立寄居城北高校出身

坂井 敦哉 埼玉県立所沢中央高校出身

須貝 義樹 山形県立南陽高校出身

藤本 拓弥 東京都立昭和高校出身

吉田 稜 日々輝学園高校出身

経済経営学部経済経営学科

井出 真理奈 長野県上田東高校出身

内沼 葵 霞ヶ関高校出身

田中 駿平 学芸館高校出身

時森 有沙 埼玉県立入間向陽高校出身

仲根 悠貴 作新学院高校出身

本間 健朔 東京農業大学第二高校出身

山本 一夢 秋田県立大館鳳鳴高校出身

メディア情報学部メディア情報学科

大平 海友 宮城県涌谷高校出身

武田 吉乃 新潟県立新発田南高校出身

竹谷 比呂稀 長崎県立南山高校出身

当麻 拓輝 埼玉県立浦和北高校出身

現代文化学部現代文化学科

大戸 梓 船橋市立船橋高校出身

烏 侑亜 山形県立山形北高校出身

熊谷 友花 滋賀県立大津商業高校出身

夏目 沙佑美 埼玉県立南稜高校出身

馬場 凌太 熊本市立千原台高校出身

榎澤 聖子 千葉黎明高校出身

藤本 桜弥 東京都立石神井高校出身

保戸塚 亮太 クラーク記念国際高校出身

心理学部心理学科

内山 陽太 東京都立拜島高校出身

落合 美咲 埼玉県立秩父農工科学高校出身

佐藤 愛里 岩手県立水沢高校出身

平良 はるな 沖縄県立西原高校出身

長島 史歩 川崎市立川崎総合科学高校出身

特別賞 スポーツにおける活躍

法学部法律学科

直井 菜摘 宇都宮文星女子高校出身

現代文化学部現代文化学科

伊谷 菜奈 静岡県立袋井高校出身

大附 紗也 埼玉県立飯能高校出身

清水 陸 埼玉県立飯能南高校出身

橋本 亜蘭 和歌山県立紀央館高校出身

原口 紗南 菊川南陵高校出身

榛澤 聖子

深澤 茉奈

古田 青依

若林 康太

千葉黎明高校出身

富士市立高校出身

埼玉県立小川高校出身

新潟県立産業大学附属高校出身

特別賞 文化的活動等の各方面における活躍

法学部法律学科

荻野 順也 東京都立瑞穂農芸高校出身

栗原 あずみ 埼玉県立寄居城北高校出身

佐藤 静香 飯田女子高校出身

鈴木 尚虎 福島県立光南高校出身

福嶋 菜々海 埼玉県立狭山清陵高校出身

眞島 櫻 秋草学園高校出身

渡部 晃平 尚志高校出身

メディア情報学部メディア情報学科

澁谷 悠太 埼玉県立新座高校出身

白坂 優太 秋田県立能代工業高校出身

増子 遼一 東亜学園高校出身

心理学部心理学科

佐々木 優太 山村学園高校出身

特別賞 まちを元気に、まちで元気に

プロジェクトにおける活躍

法学部法律学科

秋葉 寛人 茨城県立八千代高校出身

小平 健太 東京都立武蔵村山高校出身

吉田 稜 日々輝学園高校出身

メディア情報学部メディア情報学科

松浦 菜々子 作新学院高校出身

心理学部心理学科

井坪 悠紀 長野県箕輪進修高校出身

浦上 広大 長崎県立南山高校出身

川村 由佳 羽黒高校出身

栗田 由里香 千葉県立野田中央高校出身

佐藤 由莉枝 山形県立酒田東高校出身

鈴木 彩加 埼玉県立川口東高校出身

寺田 桃子 群馬県立館林女子高校出身

長島 史歩 川崎市立川崎総合科学高校出身